

**現場で使える！そのノウハウ、アウトプットしようぜ！**

**- 技術同人誌を書いて商業化された話 -**

**ソフトバンク株式会社**

**青木 敬樹 / 北崎 恵凡 / 高橋 哲平 / 鶴岡 浩平**

# 安定運用のために

お客様に安心してサービスを利用してもらうために  
運用チームは協力して通信インフラを支えています

# 発表概要

企業の普通のエンジニア達が業務(監視/運用/保全)の中で得られた知識 / ノウハウを  
同人誌 / 商業誌という形でアウトプットした事例を紹介します。

その際 得られた学びや、直面した疑問、論点について議論できればと思います。

# アジェンダ

- ・現場のノウハウを同人誌にしたら商業化された話(高橋)
- ・新卒2年目が技術本を書いてみた(青木)
- ・ガイドラインを作った話(鶴岡)
- ・さまざまな確認、手続き、論点(北崎)
- ・議論



JANOG初参加で初登壇なので  
緊張感があります

ソフトバンク株式会社  
ソリューション運用本部  
プラットフォーム運用統括部  
アプリケーション運用部  
プラットフォーム運用課

高橋 哲平  
Takahashi Teppei

サーバ/NWの保守運用業務に従事。  
自動化推進にも興味あり  
人力更新を撲滅したい！  
→結果、自作ツールのメンテ呪縛...

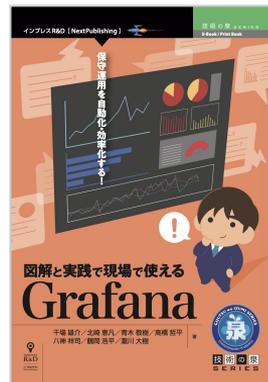
# 現場のノウハウを同人誌にしたら商業化された話

## 【経緯】

保全/運用を行うメンバが集まって同人誌を書き、技術書同人イベント「技術書典」へ参加したところ、出版社から声が掛かり商業誌化



1冊目 GAS本(2021/10)

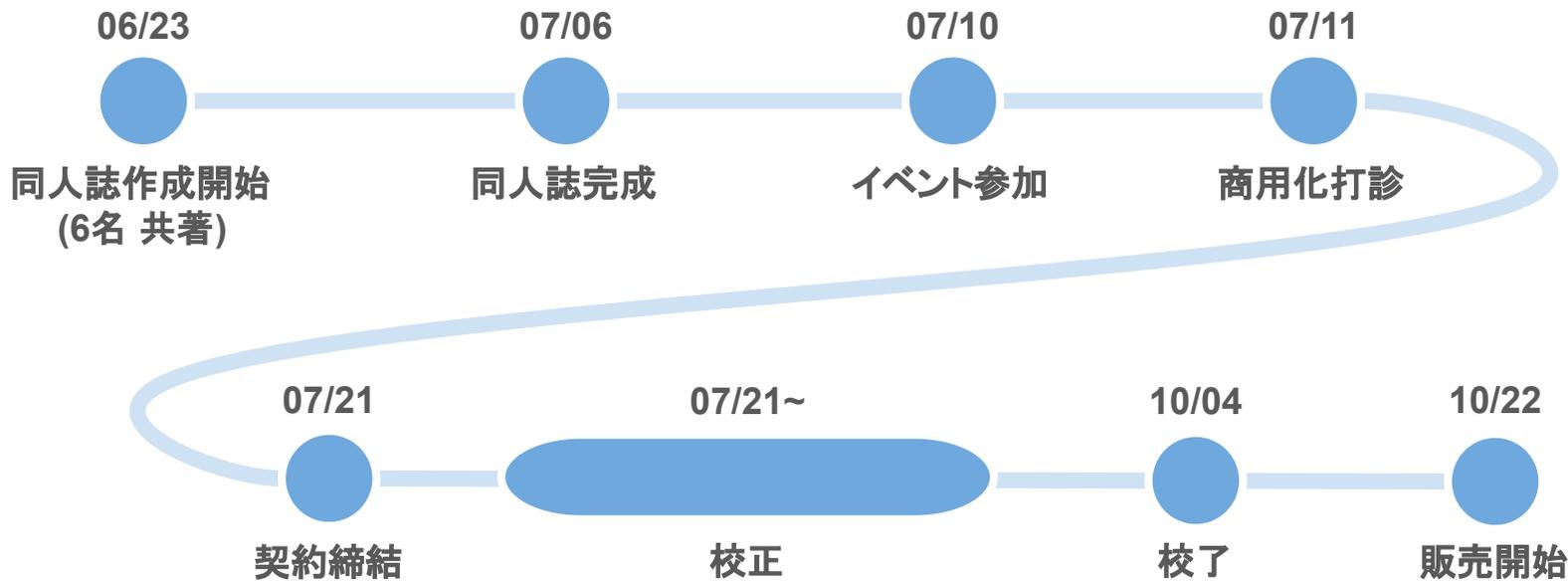


2冊目 Grafana本(2022/12)

技術書典: <https://techbookfest.org/>

書籍紹介: <https://nextpublishing.jp/book/13892.html>, <https://nextpublishing.jp/book/15901.html>

# 時系列 (1冊目の例)



副業申請

60p→145p へ大幅加筆



# 執筆にあたって

- ・書籍の内容は、一般社員が日々の業務の中で得たノウハウ、知見を集めたもの

技術書って高度な知識をもつ  
専門家(?)が書くものだ...



- ・20代～50代、若い人からベテラン社員まで混ざって6～7名で共著  
**同人誌すら初めて書く人がほとんど**

自分が本を出す側に  
なるなんて...



# 現場のノウハウをアウトプットすることについて

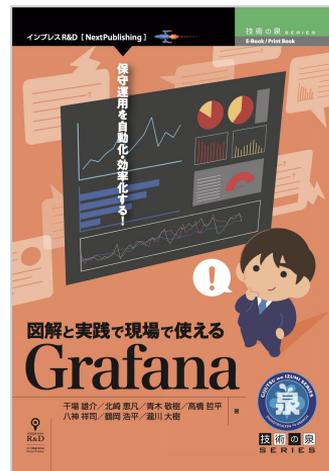
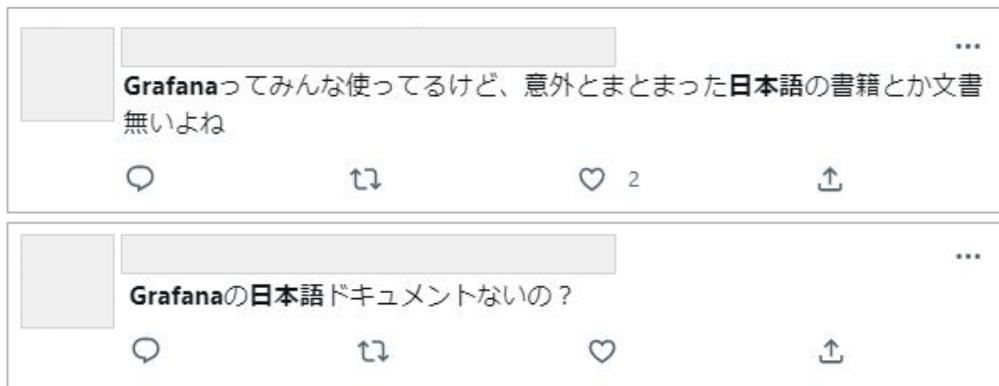
- ・技術的に間違っている点が無いかどうか、不安に...
- ・実際、本の内容はかなり荒削り(同人誌感)  
商業化の話が来たときは、より一層 不安、抵抗があった...

⇒ やらない理由は挙げたらキリがないが、

それでも、現場のノウハウを是非アウトプットすべきと考える

# 現場のノウハウをアウトプットすべき理由(気づき)

- ・自分では大したことないと思っている情報でも、欲しがる人・役立つ人がいた
- ・執筆を通じて、自身の知識も向上/整理される
- ・業界/社会としても 技術の発信が増えることは良いこと



- ・敷居が高ければ、初めは数名で同人誌を共同執筆してみるなど



## 仮想化基盤の運用に関する 自動化に興味があります

ソフトバンク株式会社  
ソリューション運用本部

プラットフォーム運用統括部  
運用部  
西日本基盤運用課

青木 敬樹  
Hiroki Aoki

新卒2年目  
仮想化基盤の運用に従事  
運用しやすい自動化を  
関心を持っています。

# 新卒2年目が技術本を書いてみた

2021年 GAS本の技術書典へ参加 ←入社

2021年 GAS本の商業本出版

2022年 Grafana本の技術書典へ参加 ←ここから参加

2022年 Grafana本の商業本出版

初めて書いた立場として

- ・初めて書籍を書いた所感
- ・初体験で不安に思った事(3点)を議論したい

# (所感) きっかけとモチベーション

## ・きっかけ

誘われたから

## ・それまでの活動

テックブログなど読むが、書いたことはない

## ・モチベーション

書いたものが本になる

複数人で書くのでハードルが低かった

技術で遊んで面白かった事を共感してほしい

# (所感) 個人的に感じたメリット・デメリット

## メリット

- ・本になって嬉しい
- ・親が喜ぶ、経歴に書ける
- ・自分の知識が誰かの役に立つ
- ・改めて1次ソースの確認

## デメリット

- ・間違っただけを書く事への憂い
- ・休日の消費

# **(不安) 議論したい事**

## **技術書典に出すまでの不安**

- ・情報オープンにすることによる利益相反
- ・文脈の崖

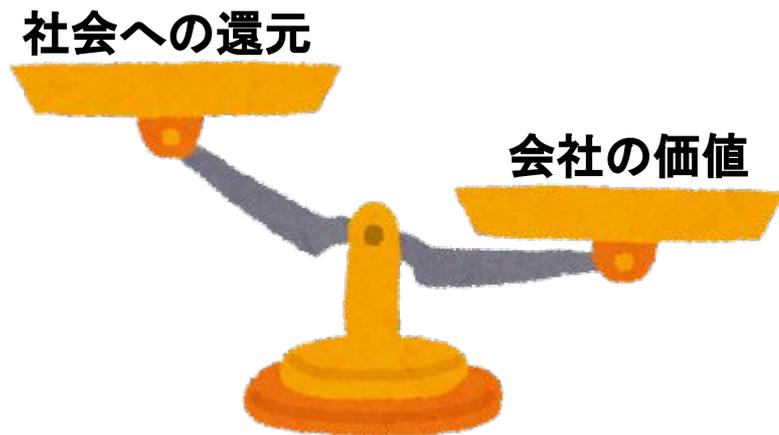
## **商業出版という恐怖**

- ・間違った情報の公開

# (不安) 議論したい事

技術書典に出すまでの不安

- ・情報オープンにすることによる利益相反



# (不安) 議論したい事

## 技術書典に出すまでの不安

- ・文脈の崖

会社のシステムをベースに話を進めると非公開情報をマスクした際に乗り越えられない崖ができるのでは？



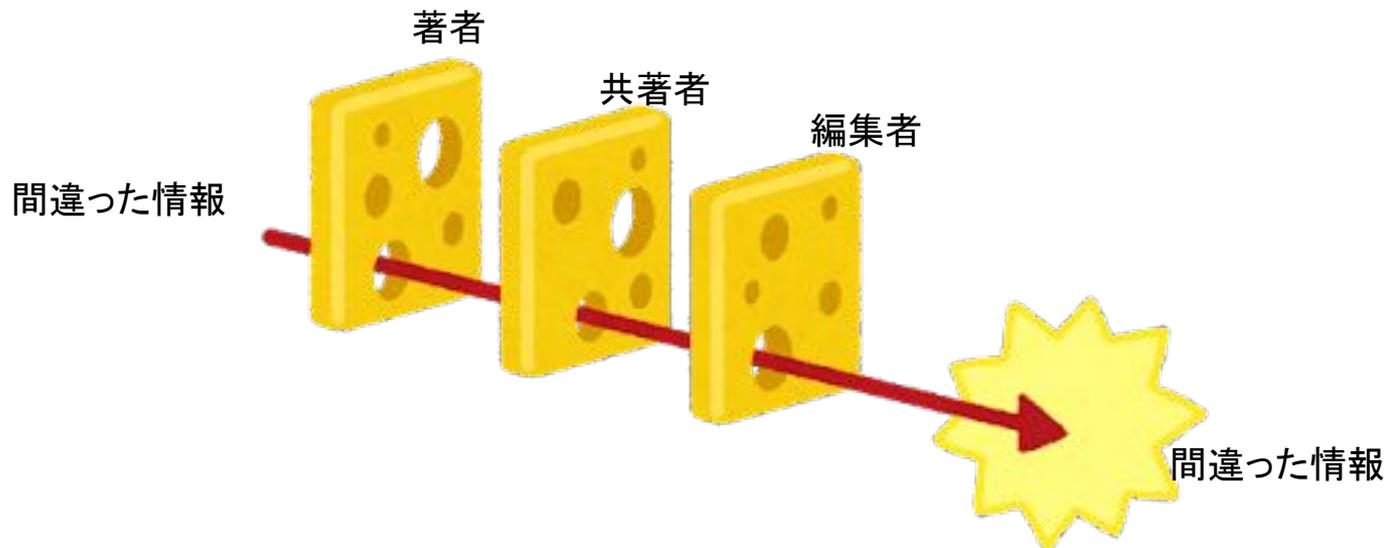
非  
公  
開

非公開

# (不安) 議論したい事

## 商業出版という恐怖

- ・間違った情報の公開(スイスチーズモデルの穴から抜け落ちる誤謬の流布)





ソフトバンク株式会社  
ソリューション運用本部

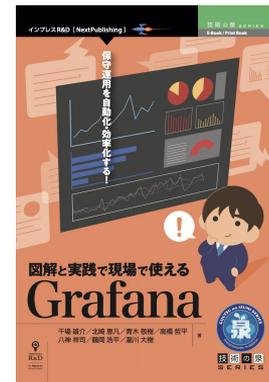
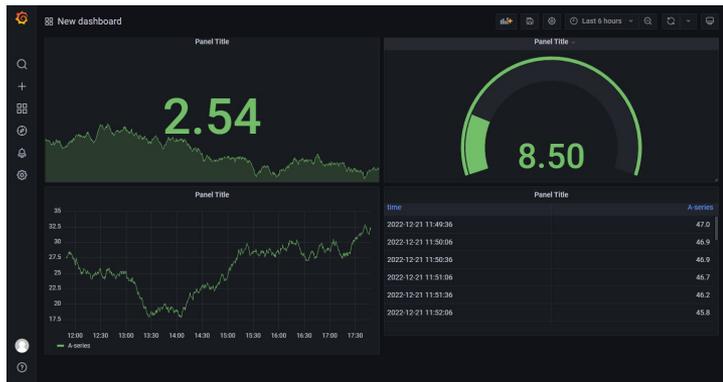
プラットフォーム運用統括部  
アプリケーション運用部  
IoTアプリケーション運用課

鶴岡 浩平  
Tsuruoka Kohei

SoftBankに入社後8年間  
アプリケーションの運用業務に従事  
「災害用伝言板」や  
緊急機関向け位置情報通知サービスを運用。

# Grafanaのガイドラインを作った話

Grafanaのような自由度の高いツールを色々な人が触る場合、  
ある程度規則性がないと見づらくなってしまいうのでガイドラインを作った  
という話。

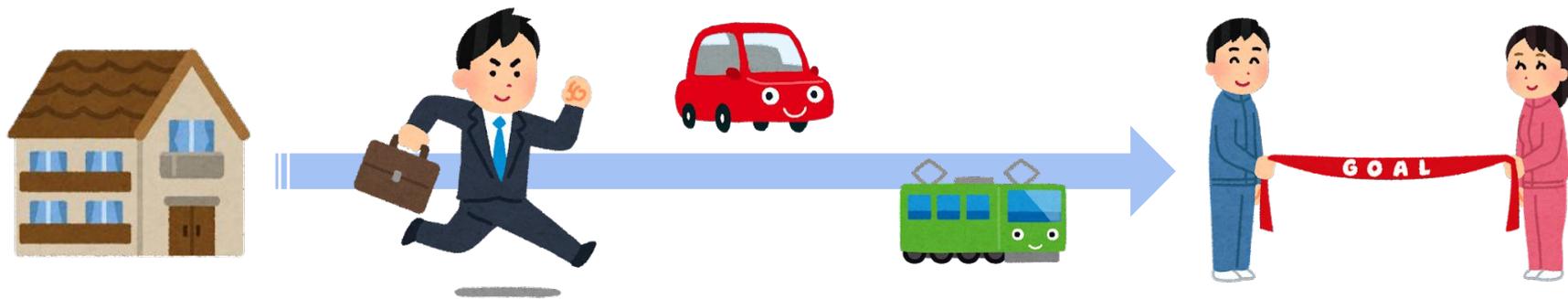


# ガイドラインとは

ガイドライン＝「指標・方向性」

マニュアルとは違い、様々なケースを想定した上でのあくまでも「基準」

→よって内容は抽象的(ざっくりどうしたいか、大まかな流れなど)



# なぜガイドラインを作るのか

1. 同じ組織内でGrafanaの設定方法を伝えたい
2. 新任者 (新規配属者など) に対する教育の簡素化
3. ナレッジ蓄積と文書化 (ガイドラインの文書管理も重要)
4. 上司にとって分かりやすい見た目にする (統一感を持たせる)

## 気づき

チームで障害対応をしていると、体系化・統一された情報表現があると短時間で課題理解や問題解決が早くなる





## メッセージングサービスを中心とした セキュリティに興味があります

ソフトバンク株式会社  
ソリューション運用本部

プラットフォーム運用統括部  
アプリケーション運用部  
プラットフォーム運用課

北崎 恵凡  
Kitazaki Ayachika

JPAAWG  
運営委員

一般財団法人 インターネット協会  
迷惑メール対策委員会 副委員長

一般財団法人 日本データ通信協会  
迷惑メール対策推進協議会 構成員

# 本日の論点

- ・情報資産 (情報機密区分)
- ・知的財産 (特許)、著作権
- ・ブランド (商標・ロゴ)
- ・広報 (社外からの問い合わせ対応)
- ・社外向けイベントでの発表資料の取り扱いに関するガイドライン
- ・本業/副業/復業/兼業 (労務・税務管理)
- ・同人誌/商業誌 (ニックネーム・本名、所属)

# 情報資産 (情報機密区分)

一例

- ・極秘情報 (For Your Eyes Only)
- ・部外秘情報 (Strictly Confidential)
- ・社外秘情報 (Confidential)
- ・一般情報

# アイスブレイク (PPAP排除の動き)

PPAPとは

パスワード付きzipファイルの添付メール問題

「パスワード (Password) 付きzip」「パスワード (Password) 送信」

「暗号 (Angou) 化」「プロトコル (Protocol)」の頭文字

情報の機密区分



ルール整備



手段の議論

# 知的財産 (特許)、著作権

## 知的財産

- ・新規性、進歩性
- ・公開される情報 (安全保障に係る特許非公開制度を除く)

## 著作権

- ・公開される情報

# ブランド (商標・ロゴ)

## 商標

- ・公開される情報

## ロゴ

- ・公開される情報
- ・デザイン、使用ルールがある
- ・他社のロゴ借用にも注意

## 広報 (社外からの問い合わせ対応)

- ・特段、ルールは決まっていない
- ・社外からの問い合わせ有無
- ・メディアへの露出有無
- ・必要に応じて、担当者をアサインしてもらう (PR目的)

# 社外向け技術イベントでの発表資料の取り扱いに関するガイドライン

## 注意事項が多い

- ・自社セミナーとの区別 (営業トークのみは禁止、対等の話し口調)
- ・商品、サービス紹介のみは禁止 (技術検証結果、経験など参加者目線で有益)
- ・業務活動、個人活動の区別 (就業時間内)
- ・社内独自の用語、略語・隠語の使用禁止
- ・他社の権利侵害に注意 (素材、ロゴの使用、著作物の引用)
- ・発表資料の公開、ブログ、SNSでの情報発信の励行

など

## 本業/副業/復業/兼業 (労務・税務管理)

- ・技術広報誌、自社技術ブログへの寄稿
- ・社内副業制度
- ・社外副業
- ・復業/兼業
- ・謝金の扱い (就業規定にあり)

## 同人誌/商業誌 (ニックネーム・本名、所属)

- ・ニックネームを名乗るか
- ・本名を名乗るか
- ・筆者紹介、経歴に所属の社名(実名)を記載するか

議論タイム

EOF